

阿部、田代、山鳥、矢倉四先生の 記念追悼号刊行に際して

会 長 森 爲 三

兵庫県生物界の進歩発達に多大の貢献のあつた阿部、田代、山鳥、矢倉4先生の業績を追慕しここに記念号発刊に際し巻頭の辭を捧ぐるは光榮の至りである。

阿部先生は多年姫路中学校の博物教員として熱心に教鞭をとらると共昭和6年に兵庫県博物学会を創設され同14年まで会長とし又年2回の会報の発刊に尽力され毎号有益な論文が多数出て生物教育界に又博物学普及に及ぼせし効果偉大なものである。私は昭和8年第1回滿蒙學術調査研究団の熱河の學術探検に動物班の主任として参加し調査後姫路に帰省した處阿部先生より之の報告談をせよとの事で姫路市公会堂で博物学会と同教育会共同主催の下に『熱河の學術探検に就て』の題で講演をし朝日新聞撮影の同探検の映画が公開され盛会でした。其の際、先生は非常に骨折られ成効であつたと思います。それが御縁で博物学会顧問に推薦され毎号雑誌を送つて厚き郷里の博物学会の活躍がわかり又私の『馬の進化と朝鮮馬』の論文も載せて厚き御愛顧にあづかつた。実に先生は県の博物学会の発達に生命を賭して奉仕せられた姿が今尙眼前に浮び追慕おく能はざるものがある。

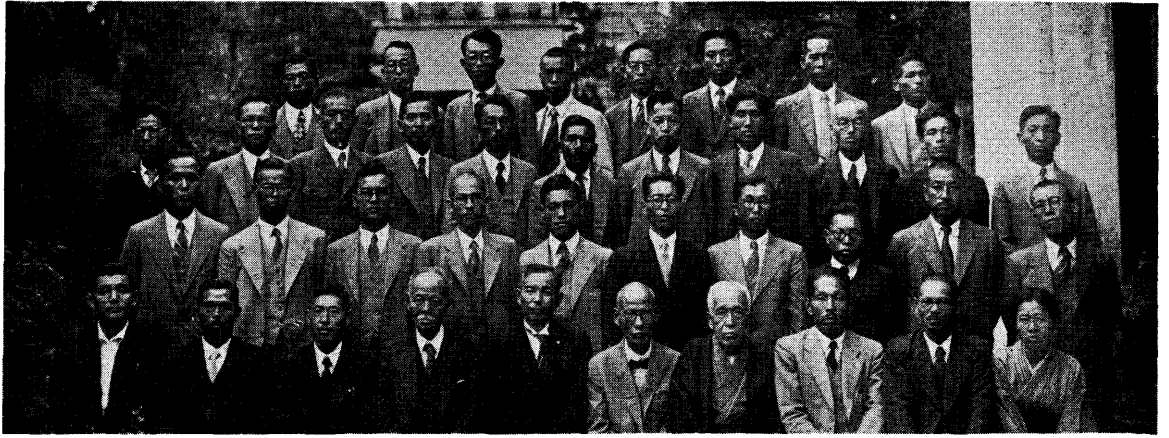
田代先生は小生昭和10年頃京都大学植物腊葉室で初めてお目にかかつた之の際京都大学所蔵の腊葉標本30万点の中10万点が先生自らの御採集製作と承り之の偉大な業績に頭の下る思を致しました。兵庫県には昭和5年から18年頃まで毎年かかさず1.2回各所を採集調査され足跡至らざる所なく後進をよく指導され兵庫県の採集会が今尙盛んに行はれて居るのは先生の御指導の賜物と思います。之れで兵庫県植物調査の第一の功

労者と云つても過言でないと思つます。

山鳥先生は小生の朝鮮時代の盟女三国谷が県の祝学官時代祝学官室でお目にかかつただけであるが御影師範、明石女子師範の植物教師をせられて多数の初等理科教員を養成され門下から著名な生物教師が出て居る。其の後西宮高等女学校長時代、県の天然記念物調査委員となられて西下くまなく指定候補の天然記念物を調査され写真入りの立派な調査報告書が出て居る。私は之の後をついで現在迄の天然文化財の調査委員となつて居たが該報告書が非常な参考資料となり感謝して居る。また先生は昭和12年から終戦まで県の中等植物学会会長となられ博物学普及に力められ之の『六甲、摩耶山植物目録』や『六甲山植物』なる書物を出版され県の植物教育及植物調査に多大の貢献をされ大恩人と称すべきである。

矢倉先生は小生1回もお目にかかつたことはないが貝類学者平瀬信太郎氏から之の風貌を承り帰省の際一度お目にかかりたく思つていたが之の機会を得なかつたのは今尙残念に思つて居る。先生は有数の貝類蒐集家で大正時代舞子に貝類館をつくり公開して貝類知識普及に力めると共に貝類を研究され兵庫県貝類目録を編され新種も多数発表されて居る。

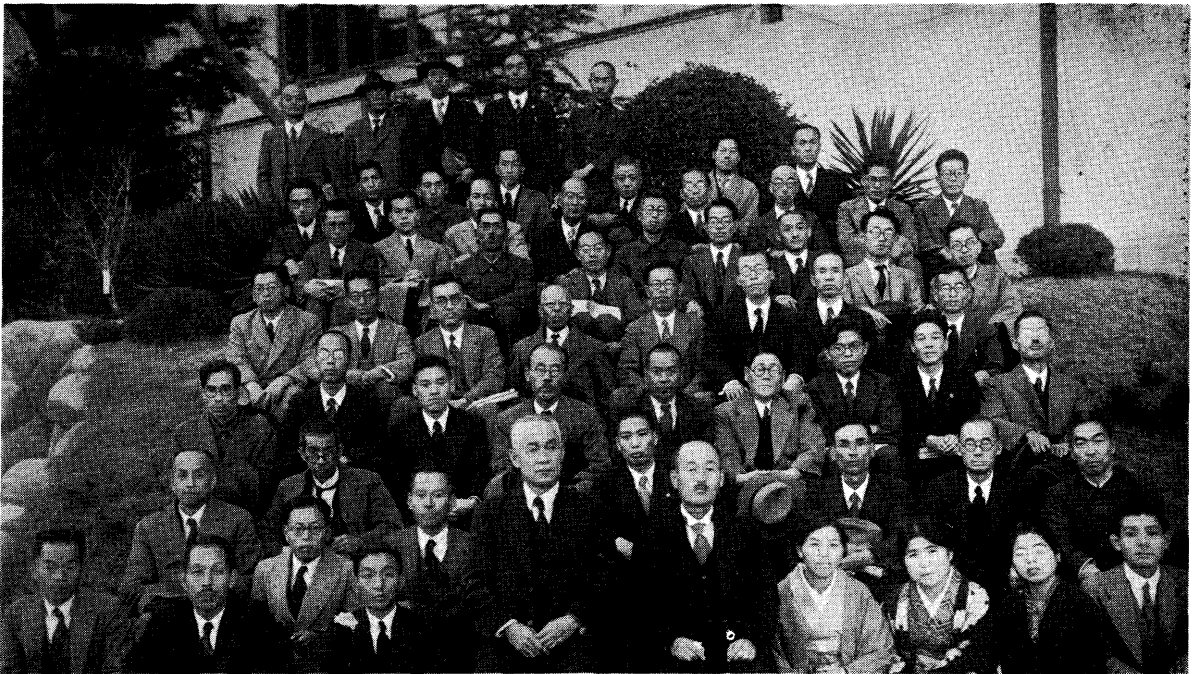
かくの如く4先生共に兵庫県の生物を対象として調査研究発表されたことが多く其の業績の詳細は会誌に於て各々縁故のある会員各位によりて紹介さるるが如く顯著であるので其の功績を永遠に後世にのこすべくここに記念追悼号を刊行して之の遺業を偲び後進の発奮を促す次第である。



縣博10周年記念總會

(昭和15年10月13日)
於諏訪山小学校

- | | | | | |
|------------|------------|------------|----------------|--------------|
| 1 故 安井喜太郎 | 2 陸 井 初 治 | 3 川 崎 正 悦 | 4 故 田代善太郎 | 5 上 治 寅次郎 |
| 6 故 阿部 良平 | 7 故 矢倉和三郎 | 8 市 川 幸兵衛 | 9 大 浦 茂 樹 | 10 魚 崎 茂 子 |
| 11 井 上 三 義 | 12 松 本 中 義 | 13 紅 谷 部 進 | 14 大 井 良 次 | 15 室 井 紳 |
| 16 藤 田 親 章 | 17 松 田 中 金 | 18 建 部 惠 潤 | 19 大 岩 佐 修 | 20 竹 中 茂 |
| 21 中 山 二 郎 | 22 竹 村 修 一 | 23 倉 橋 三 淨 | 24 森 本 義 夫 | 25 八 十 川 俊 夫 |
| 26 川 崎 秀 次 | 27 早 川 守 利 | 28 田 中 淨 | 29 故 武 藤 留 之 助 | 30 古 川 博 二 |
| 31 井 上 貞 三 | 32 川 名 利 雄 | 33 畑 道 則 | 34 春 成 好 成 | 35 |
| 36 田 中 兼 治 | 37 | | 39 中 村 重 三 | |



山鳥先生還曆祝賀會

(昭和16年11月)
於神戸一中

- | | | | | |
|--------------|----------------|------------|--------------|--------------|
| 1 今 西 清 | 2 市川 幸兵衛 | 3 井上 貞三郎 | 4 川村 多実二 | 5 故 山鳥吉五郎 |
| 6 植 生 操 | 7 郷 芙美枝 | 8 齊 藤 寛 子 | 9 故 安井喜太郎 | 10 |
| 11 建 部 惠 潤 | 12 陶 久 雪 衛 | 13 畑 道 則 | 14 森 重 夫 | 15 延 原 幸 一 |
| 16 故 横山 賀前 | 17 加 藤 勝 郎 | 18 荒 木 義 雄 | 19 宇 野 確 夫 | 20 室 井 紳 |
| 21 長 岡 金 義 | 22 野 中 保 一 郎 | 23 井 上 完 爾 | 24 片 山 正 進 | 25 古 川 博 二 |
| 26 森 本 義 夫 | 27 真 島 直 澄 | 28 藤 田 親 章 | 29 紅 谷 部 進 | 30 故 鈴木与五郎 |
| 31 広 本 文 一 | 32 竹 中 茂 郎 | 33 土 井 良 次 | 34 大 井 良 次 | 35 |
| 36 | 37 栗 本 義 郎 | 38 陸 井 初 治 | 39 田 中 兼 治 | 40 河 合 明 |
| 41 | 42 | 43 春 成 兼 俊 | 44 | 45 古 林 実 |
| 46 | 47 | 48 | 49 萩 原 繁 太 郎 | 50 故 吉 田 泰 三 |
| 51 山 本 昇 十 郎 | 52 中 山 二 郎 | 53 高 井 久 男 | 54 井 上 三 義 | 55 |
| 56 | 57 故 小 山 田 稻 鷹 | 58 | 59 | 60 |

(表中誤がありましたら編集子宛御知らせ下さい)

